

NEWS RELEASE

2015年9月30日
みずほ情報総研株式会社

売掛金管理業務をサポートする「請求・消込 Collection®2.0」に でんさい消込機能を追加

— 電子記録債権「でんさい」の消込業務の効率化を支援 —

みずほ情報総研株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：西澤 順一）は 2015 年 10 月 1 日より、売掛金管理業務をサポートするソリューション「請求・消込 Collection2.0」に、でんさい（電子記録債権）通知情報での消込を可能とする「でんさい消込機能」を新たに追加し、提供いたします。

2013 年 2 月より、全国銀行協会の 100%子会社である株式会社全銀電子債権ネットワークが運営する電子債権取引システム「でんさいネット」の利用が開始されました。2015 年 4 月には利用件数が累計で 100 万件、利用者登録は 41 万社超※に達するなど、従来の手形から「でんさい」へ移行する企業が増加しています。しかしながら、「でんさい」導入にあたっては、基幹システムの大規模改修や事務フロー増加による経理業務の負担増大への懸念などから、導入自体を断念する企業や、導入後も手形から「でんさい」への移行に消極的な姿勢を示す企業も見られます。

今般新たに追加したでんさい消込機能は、「でんさい」発生時に債権者へ通知される情報と売掛金情報により自動消込を行うほか、「でんさい」決済後の口座間送金決済情報の取得をシステム化し、基幹システムとの連携を可能とします。本機能を利用することで、自動消込による経理業務の効率化だけでなく、基幹システム上の消込処理も不要となり改修費を削減します。

導入までに掛かる期間は、「請求・消込 Collection2.0」を初めて導入する場合は約 3 か月、既に導入済みで「でんさい消込機能」だけを新たに追加する場合は約 2 か月となります。

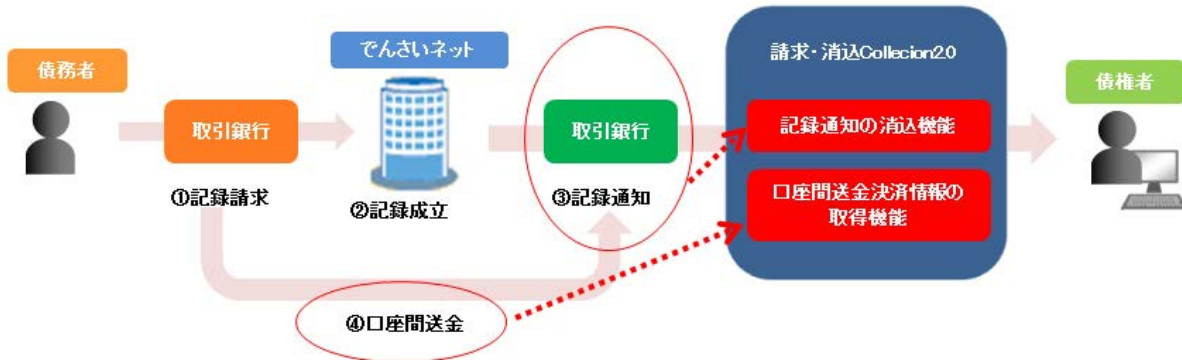
でんさい消込機能のベースとなる、「請求・消込 Collection2.0」は、当社が債権者側企業に代わって請求書作成と発送から、金融機関等からの入金データ代行受信、消込業務を支援するソリューションです。売掛金に基づく請求データの他、取引先データや消込結果データなど、データの授受をすべてインターネット上で行うことで、入金消込業務の効率化を推進する点が評価され、2008 年の提供開始以来、60 社超の企業に導入されています。なお、「請求・消込 Collection2.0」では「でんさい」だけでなく、他チャネル（銀行振込、口座振替、コンビニ収納等）を組み合わせでの利用も可能であり、入金消込業務の一括管理に対応できます。

みずほ情報総研は今後も、金融系 IT 会社の強みを生かし、請求や回収に関連する様々なソリューション提供を通じて、お客さまの業務効率の向上に貢献してまいります。

※出典：平成 27 年 4 月 16 日 株式会社全銀電子債権ネットワークプレスリリース

■「でんさい消込機能」の概要

受取った「でんさい」の自動消込を行う他、口座間の送金決済情報を取得し管理を効率化

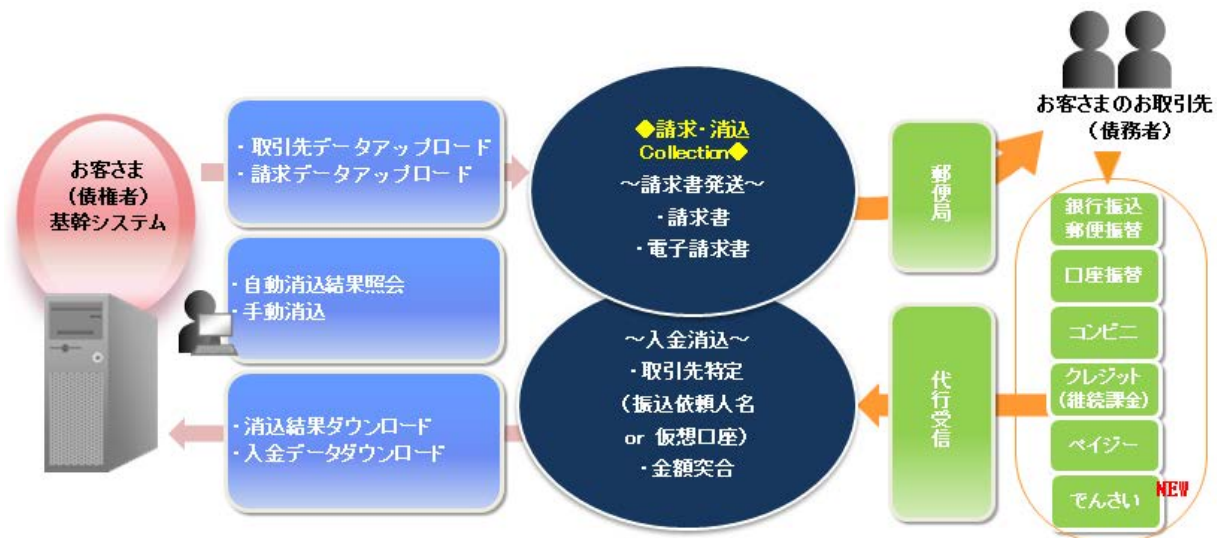


でんさい消込機能について

- ・記録通知の消込機能（「でんさい」発生時の債権者向け情報通知時）
「でんさい」の発生時に債権者へ通知される情報を取得。取引先を特定し、売掛金に基づく請求データとの消込を自動で実施。この消込結果データを債権者であるお客さまへ還元。
※請求・消込 Collection2.0 ではチャネル併用が可能なため、でんさい以外のチャネルを用いた支払いの消込も可能です。
- ・口座間送金決済情報の取得機能（「でんさい」による支払いの期日到来時）
債権者であるお客さま口座への多量な振込入金情報から、「でんさい」の口座間送金情報を判別し還元。

■請求・消込 Collection2.0 の概要

でんさい消込機能のベースとなる、請求・消込 Collection2.0 は、債権者の売掛金管理業務の省力化・効率化を目的としたソリューションで、売掛金の消し込み作業から、請求書の作成・発送に至るまで、トータルにサポート致します。また、ニーズに合わせたカスタマイズも可能です。



請求・消込 Collection2.0 の詳細についてはこちらをご覧ください。

<http://www.mizuho-ir.co.jp/solution/corporation/backoffice/finance/demand/skc2/>

* 「請求・消込 Collection」は、みずほ情報総研株式会社の登録商標です。

* 「でんさい」は、株式会社全銀電子債権ネットワークの登録商標です。